2023-5-25

マティスの作品に影響を与えたミューズたち～その１～

山本 雅晴

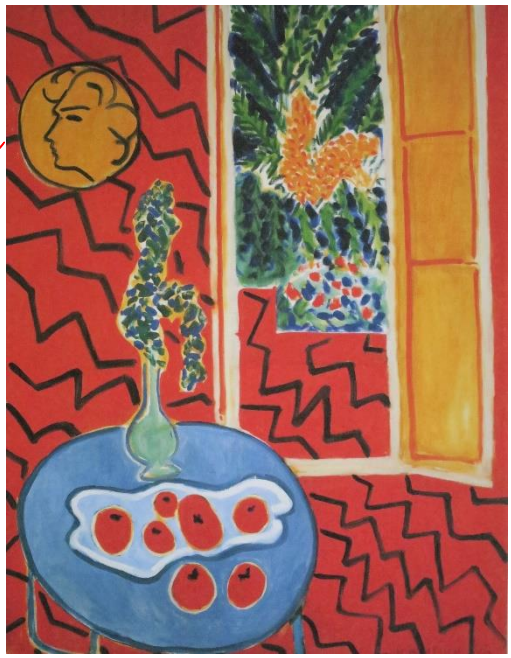
カミーユ・ジョブロー（1873～？）が 19 才でマティスが 24 才の 1893 年にパリで知り合い、同棲して 1894-8-31 に救貧院でマルグリット・マティスが誕生した。マティスの絵画作品で 1894 年に初めて国家買い上げとなる「読書する女」や 1897 年の「食卓」のモデルといわれている。マティスとは 1895～1897 年の夏にブルターニュのベル＝イル島に 3 度同行している。しかし、当時のマティスはモローの指導を受けているのに、ゴッホやセザンヌ、印象派のモネなどの手法を探求しつつ、自分のものにできず苦悩していた。また、親からの資金援助も減らされ困窮のどん底だった。このような状況にカミーユも嫌気をさし 1897 年の夏の終わりにマティスのもとを去った。マルグリットの母でもあるカミーユ・ジョブローはブルターニュの引退した学校長と結婚して余生を送った。マティスは彼女に仕送りをし、マルグリットを通じて消息を聞いていた。

1.　読書する女　1894 年

2.　食卓　1897 年　個人所蔵

3.赤い室内(女性はカミーユ？)　1908 年　エルミタージュ美術館

→
メダイヨン
がカミーユ



4. 青いテーブルのある赤い室内 1947